

絆のあんしんネットワーク

活動報告集 第1号

平成27年4月

足立区地域のちから推進部 絆づくり担当課



足立区孤立ゼロプロジェクト推進活動

はじめに

日頃より足立区の「孤立ゼロプロジェクト」にご理解、ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

さて、昨年1月現在の足立区の高齢化率は、23.5%と23区では上位から2番目の結果となりました。昭和60年には7.5%と逆に下位から3番目でしたので、この約30年間で足立区の高齢化は劇的に進行したことになります。さらに、本年1月1日付けの高齢化率も24.2%と一層進展しており、今や区内の高齢者人口は16万人を超え、特に一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯も増加が顕著です。

こうした状況下、平成24年度より始動した「孤立ゼロプロジェクト」の実態調査は、平成27年3月末現在で250町会・自治会、実施率は57.3%に達しました。また本調査によって発見された孤立の恐れがある方々のうち497世帯は、協力員の皆様の定期訪問や地域包括支援センターの支援によって孤立状態から脱却されています。

なお、これまでの「足立あんしんネットワーク」事業は、本プロジェクトと統合し、平成26年4月から名称を『絆のあんしんネットワーク』と改め、協力員の登録者数も900名を超えるなど、地域における気づき・見守りの活動が一層強化されています。

この報告集は、『絆のあんしんネットワーク』として、高齢者が住みなれた地域で安心して生活できるよう、皆様方が展開されてきた様々な活動の一端をご紹介しますものです。お役立ていただければ幸いです。

平成27年5月15日

足立区長
近藤 や よ い

目次

活動報告

- ◆ 本報告集をご覧になるにあたって・・・ 3
- ◆ 日の出・・・ 5
- ◆ 千寿の郷・・・ 6
- ◆ 千住西・・・ 7
- ◆ 千住本町・・・ 8
- ◆ 新田・・・ 9
- ◆ 扇・・・ 10
- ◆ 本木関原・・・ 11
- ◆ 関原・・・ 12
- ◆ あだち・・・ 13
- ◆ 中央本町・・・ 14
- ◆ 西綾瀬・・・ 15
- ◆ 東和・・・ 16
- ◆ 中川・・・ 17
- ◆ さの・・・ 18
- ◆ 一ツ家・・・ 19
- ◆ はなはた・・・ 20
- ◆ 保木間・・・ 21
- ◆ 六月・・・ 22
- ◆ 西新井本町・・・ 23
- ◆ 西新井・・・ 24
- ◆ 江北・・・ 25
- ◆ 鹿浜・・・ 26
- ◆ 入谷・・・ 27
- ◆ 伊興・・・ 28
- ◆ 基幹・・・ 29

資料編

- ◆ 絆のあんしんネットワーク概要
- ◆ 孤立ゼロプロジェクト進捗状況
- ◆ 絆のあんしんネットワーク協力員・協力機関数
- ◆ 担当圏域別人口
- ◆ 地域包括支援センター一覧

本報告集をご覧になるにあたって

- ・ この活動報告集は「絆のあんしんネットワーク」の活動について、各地域包括支援センターから提出されたものです。
その中に記載されている「サロン」、「教室」などの詳細については、直接、地域包括支援センターへお問合せください。
なお、電話番号は ページに掲載しております。
- ・ 名称について以下のとおり記載しています。
地域包括支援センター センター

活動報告

はればれサロン

日ノ出町にある団地「コーシャハイム北千住」は、平成25年に孤立ゼロプロジェクトの活動に参加しました。その時に、孤立ゼロプロジェクトが目指す「居場所づくり」について、団地に住む絆のあんしん協力員・緒方邦子さんが「自分達の地域でも集える場をつくらう」と提案して下さったことがきっかけとなり、足立区社会福祉協議会が応援する「ふれあいサロン」事業を活用した「はればれサロン」を立ち上げました（1）。

「はればれサロン」は、平成26年7月から始まりました。ご近所の高齢者の方々が集まり、一緒にお茶を飲んだりお喋りして楽しく過ごしています。このサロンの特徴は、毎月講師の先生をお呼びして、役立つ情報を得られるところです。下の写真は、認知症疾患医療センターである大内病院の井手看護師が、「ノロウイルス撃退法の実践」[11/17]についてお話ししてくださったときの様子です。



家にある日用品で感染予防ができます



お茶会ではいつも大きな笑い声！



素敵な笑顔のおふたりです

これからのサロン

「はればれサロン」は、日ノ出町、千住旭町に住む高齢者の方を中心に参加を募っています。運営では絆のあんしん協力員の方々も、会場やお茶の準備などのボランティアとして参加して頂いています。サロンの代表・緒方さんは「高齢者の方は勿論ですが、介護で苦労されているご家族の方も休息できる場になれば」という構想もお持ちです。今後も、“素敵な笑顔のおふたり”が多くの参加者をおまちしています。

(1) はればれサロン：毎月第4月曜日の午後、コーシャハイム北千住（日ノ出町26-1）1階集会所にて開催（祝日の際は1週間繰り上げ）

絆のあんしん連絡会

地域づくりのために必要な情報提供や課題の共有をし、その上で、地域の実情に応じた様々な事業（健康講座や体操教室など）が連動して展開しています（ 1 ）。

地域の声を直接区役所に届ける

絆づくり担当課が毎回、連絡会に参加しています。そのことにより、地域の状況を直接伝えることができる有意義な場になっています。

情報交換を行い、新たな事業を展開する

地域の情報交換をし、地区ごとに話し合い、「こうなったらいいな」と自由に意見を出し合っています。特に地域の見守りについての課題は多く、孤独死を防ぐためにも、普段の近所づきあいや緊急連絡先の作成等が必要だと再確認しました。

事例検討を通じて地域活動の在り方を考える

自分たちが行っている活動を振り返り、地域づくりと活動がどうつながっているのかを客観的にとらえ、今後の活動に役立てる機会になりました。今年度は、地域の実情に合わせて各町会・自治会単位で「認知症」、「老い支度」、「糖尿病対策」等の講座を行ったとの報告があがりました。



「特殊詐欺を防止するには？」区危機管理課と千住警察署の方からのお話[11/2]

気づき、見守り、寄り添い事例

絆のあんしん協力員

柳原北町会婦人部では、皆が集える場所として、**体操教室**を3年前から取り組み始めています。体操教室に来る際、介助を要する方は絆のあんしん協力員の方が寄り添い、会場までの案内をしています（ 2 ）。



（ 1 ）絆のあんしん連絡会：毎月第4火曜日（8月と12月を除く）、千住曙町共同会館（千住曙町4-16）にて開催

（ 2 ）柳原北町会婦人部 体操教室：毎月第2第4土曜日、柳原神社会館にて開催

人と地域がつながるネットワーク

千住西の絆のあんしんネットワークの目標は以下の3つです。

絆のあんしん協力員の交流

孤立ゼロプロジェクトを通じた町会との関係作り

地域ケア会議を通じたネットワーク作り

絆のあんしん連絡会は、絆のあんしん協力員さんと絆のあんしん協力機関さんと「こんなことがあったよ！意見交換会」を開催しています。「空き屋が増えている」、「あきらかにゴミがたまっている家がある」、「あそこが閉店するよ」など、**地域を知り尽くしている絆のあんしん協力員さんならではの発見**があります。同じ風景でもいつもと違うな・・・と気づくこと、それを連絡会で伝えることが大切だと感じています（ 1 ）。

絆のあんしん連絡会 千住桜花苑の見学会[10/2]



特別養護老人ホームを見学



利用者さん手作りの壁面アート

都営桜木のおしゃべり会（ 2 ）



ちょっと若く、写してちょうだいね～

絆のあんしん連絡会にて 「こんなことがあったよ」の会[5/13]



かたくるしくなく、自然な気づきも！

（ 1 ）絆のあんしん連絡会：2ヶ月に1回、センターにて開催
 （ 2 ）おしゃべり会：毎月1～2回水曜日、都営桜木団地集会所（千住桜木2-15-1）にて開催

体操教室 「すみれ会」

センターでは体操教室「すみれ会」を定期開催しており、毎回ゴムバンドによる体操を実施しています。回によっては、講師の方をお呼びして講演も行っています。平成26年12月11日は千住警察署による出張講座が開かれました（ 1 ）。

テーマは「身近にひそむ危険について」です。

主に、「振り込め詐欺」「母さん助けて詐欺」など、高齢者を標的とした犯罪について、注意を促す内容でした。区内で発生した事例も交えてのお話で、大変わかりやすい解説となりました。

電話を受けたら！

- ・動揺しない、あわてない
- ・疑う、信じない
- ・すぐにお金を渡さない

不審な電話を受けたら、すぐに警察へ相談！



千住警察署による講話風景[12/11]

感想

参加者の皆さんからは「自分は平気だと思う」、「うちにはお金がないから大丈夫よ！」などの声がありましたが、詐欺被害にあう方の多くが「自分は大丈夫」と思っている方だそうです。

その油断が、被害につながるとの指摘があり、参加者の皆さんも「気をつけなくちゃ」と気を引き締めておられました。

「振り込め詐欺見張隊」無料設置

ご自宅の電話機に「振り込め詐欺見張隊」という機械を、警察が無料で設置。

着信音が鳴る前に、発信者に「この電話は、振り込め詐欺等の犯罪被害防止のため、会話内容が録音されます」という警告メッセージを流し被害防止を図ります。

(1) すみれ会：毎月第2木曜・第4水曜、千住柳町住区センター（千住柳町12-5）にて開催

新田1丁目団地で買い物支援活動

新田地域は、隅田川と荒川に挟まれた景観の素敵な静かな地域です。人と人とのつながりを大切にし、支え合いながら生活している方も多いのですが、支える側も高齢化し、生活の不便さが聞かれるようになりました。そんな中で、昨年からはまった新たな取り組みをご紹介します。

川と環状7号線に囲まれた新田1丁目周辺には、足腰が弱くなってしまった方が気軽に買い物できるお店がありませんでした。「この状況を何とかしたい!」、「家に閉じこもりがちな方が外に出るきっかけを増やしたい」そういう声を受け、絆のあんしんネットワークに協力機関として登録のある新田1丁目アパート自治会と新田商店街振興組合の有志の方々を中心に、地域の皆さんが立ち上がり買い物支援活動を始めました(1)。



新鮮な魚や小分けのお惣菜



自治会の協力が欠かせません



荷物を運んでくれる優しい方がいます
安心して買い物が出来ますね



笑い声が団地内に響き渡ります

買い物支援活動を始めて約1年が経ち、普段あまり外に出ない方も顔を出してくれるようになりました。さりげない見守り・・・素敵ですね。

(1) 新田一丁目団地 買い物支援活動：毎月第3日曜日、団地内の特設会場にて開催

NPO扇ことぶき会

今年度の絆のあんしん連絡会では、扇エリアで活動している「NPO扇ことぶき会」の紹介をしました(1)。扇ことぶき会ではハッピーランチ、スポーツ吹き矢、カラオケ、体操などを行っており、**地域で孤立しがちな高齢者が気軽に集える場**として活動を続けています。連絡会では立ち上げの苦労話や実際の活動のお話を聞かせていただきました。



扇ことぶき会代表 滝澤さん(右)
事務局長 笠井さん(左)



絆のあんしん連絡会の様子

見守り・寄り添い支援活動



センターでは、絆のあんしん協力員に登録をして下さっている方が 40 名以上おり、日頃の見守り活動にご協力をいただいております。西部ブロック合同の協力員交流会では、**寄り添い支援活動の報告や各町会自治会でカラオケや誕生会、老人会などの活動を通しての見守り体制ができて**いること等をお話していただきました(2)。また、協力機関の「あさがお薬局」では、**薬局を利用されるお客様の身近な相談所**として登録していただいています。これからも住み慣れた地域で安心して暮らせるように地域のつながりを大切にしていきたいと思ひます。



西部ブロック合同交流会にて[10/23]
絆のあんしん協力員 松尾さん(中央)
田中さん(左)



お薬の事だけでなく、
何でも相談してください
あさがお薬局(3) 薬剤師 小松さん

(1) NPO扇ことぶき会：各種活動を扇一丁目第三団地第2集会所(扇1-54-8)にて開催
(2) 西部ブロック 絆のあんしん交流会：H26.10.23 ギャラクシティ(栗原1-3-1)にて開催
(3) あさがお薬局：本木南町27-4 プレステージ本木1階、土曜午後・日曜定休

絆のあんしん協力機関 (有)寿屋 細川米店

昭和3年創業の地域密着のお米屋さん(1)。若き四代目、細川さんへインタビューしました。

登録のきっかけ

先代より取引のある顧客が多く、時代と共に高齢化も進んでいます。配達時に気がかりなことがあっても「どこまで踏み込んで良いのか?」と感じていました。あだち広報で絆のあんしん協力機関を知り、業務の中での気づきを活かせると思い登録しました。

活動のなかで

配達区域は本木、関原を始め、千住、綾瀬、竹の塚、江北など広範囲です。お客様の状況は時と共に変化しますが、配達中に最新情報を得るのは難しいところです。それでも顔が見えることや声を聴き動作が見えることで得られる気づきが多いです。そんな時は「ヘルパーさんやケアマネさんは来ていますか?」と尋ねます。サービスの繋がりがあれば一先ず安心ですから。それでも心配なとき、特にもの忘れ症状を感じた場合はセンターへ相談します。その後の報告もあるので安心です。



細川米店前にて



バイクで配達に出掛けます

これからのこと

本木関原は路地が多く、井戸端的な良き時代の名残があり横のつながりも深いと感じています。同居の母親には年長者の気持ちなど自分には分からない視点を教えてもらっています。

先代より引き継がれたお客様を大切に思う気持ちを、高齢化の進んでいる今だからこそ地域で恩返しできればと思っています。



配達先でのコミュニケーションも欠かしません

2人の絆のあんしん協力員の活動紹介

小笠原協力員 ~生きがいをもって活動しています!~

65歳でサラリーマン生活をリタイアしました。47年間の会社人間から「**今後は、家庭と地域社会に恩返しをしよう**」と考えていた時、東日本大震災が発生しました。地域に住む独居高齢者が心配でしたが、どこにどのような人が住んでいるのか、日頃の付き合いも無く分からない状況でした。

また、子どもや高齢者を巻き込む事件が増えていることから「**私の住む地域からは起こさせないぞ!**」と絆のあんしん協力員に登録し、学童や高齢者の見守り活動を人生の生きがいとしてやっています。



挨拶はいつも元気な声を心掛けています



ごみを出す高齢者への声かけ

朝早くからごみ出しをしている高齢者や、学童の登下校時の「**挨拶(見守り)活動**」を始めて2年9か月が経ちました(1)。毎朝、通勤・通学を含めて100人以上の方に、元気に「おはようございます! いってらっしゃい!」と声掛けをし、一日がスタートすると寒さも忘れまよ。明るい挨拶が町中に響き渡るといいですね。

鈴木協力員

~自身の生活にも良い変化を感じています!~

毎週月曜日の朝、高齢者の安否確認を兼ねた「**ごみ出し支援活動**」を行っています。ごみ出しはもちろん、訪問も喜んでくださっているようでとても嬉しいです。ごみ出しの後はセンターに寄り「今日もお元気そうでしたよ」と報告をします。

また、この活動を始めてから気持ちが引き締まり、メリハリのある生活が続いています。活動を始める前は、朝はテレビを見ているだけでしたが、月曜日の朝はきちんと着替え、髪も整えて活動に向かいます。訪問先の方にはもちろん、そのご近所の方にも、絆のあんしん協力員として恥ずかしい姿を見せるわけにはいきませんからね。



安否確認を兼ねてごみ出し支援を行っています

(1) 挨拶(見守り)活動: 小笠原協力員は梅田7丁目の交差点各所にて活動中

「プラスパ」(惣菜屋)の見守り活動

今年度、総菜屋の「プラスパ」が絆のあんしん協力機関に登録されました(1)。様々な年代の方が買物をされるお総菜屋さんということもあり、高齢の方もよく来られています。店内に座って休むスペースもあるので、お昼時や銭湯帰りはにぎやかな光景が見られ、おひとり暮らしの方の安否確認の場にもなっています。

その為、以前からセンターには地域の様々な情報提供をしていただいております、その情報から介護サービスの利用や見守り支援の利用等にもつながっています。

実際にあった見守り事例

先日、店で買い物をされた年配の白杖を持った方がしばらくの間その場にたたずんでおられたので、心配になり声をかけた所、「道に迷って帰れない」と困っていたそうです。そこで一緒に家を探し歩き、なんとかたどり着く事ができました。しかし、家で待っていたお身内の方が「(迷子になっていた本人は)具合が悪く食事も摂れていない…」と話されていた為、その方にはセンターを紹介し、あわせてセンターにも情報提供してくださいました。その後、その方が再度お店に相談に来られたとセンターへご連絡くださり、職員が状況確認に出向き、介護サービス利用につながりました。

また、職員が買い物に行くと、いつも地域のいろいろな情報を提供していただき、地域の実態把握に役立っています。今後は、お店のスペースを利用して介護相談教室等の開催も企画しています。

「プラスパ」に活動の感想をインタビュー

同世代のお客さんと共通の話題も多く、色々なお話しをしています。しかし、個人情報の事もあり、心配な方がいた時にどこまで話を聞いて良いのか、難しいと感じる事もあります。けれど、何かあった時にはセンターが相談窓口としてあるので、すぐに相談できて心強く思っています。地域のつながりの大切さを強く感じています。今後ともご協力の程、よろしくお願い致します！



絆のあんしん連絡会の様子



プラスパ店内の様子

(1) プラスパ：足立 3-20-10、日曜定休

「まさかの水害被害」を考える

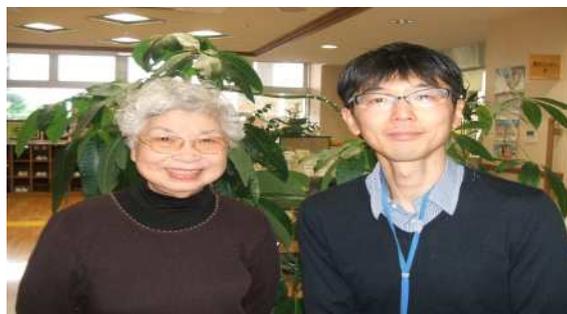
もし、都市部を集中豪雨が襲い、大きな河川が氾濫したら・・・どれだけの被害が発生し、被害を最小限に抑えるために事前に地域の中でどんなことに気を付けておくといいいのか。

これについて専門家から正しい情報を聴くため開催されたのが「まさかの水害！～高齢者にとっての支援とは～」[11/20]というテーマの絆のあんしん連絡会でした。

当日は、荒川氾濫を想定した映像を共有、区役所危機管理室職員さんより洪水ハザードマップを使って、浸水被害範囲を確認、都市部水害の特徴や今後の取り組み、日頃の自助や共助活動の大切さについて貴重なお話を頂きました。



洪水ハザードマップ



実態調査を担われた戸田さん

講義終了後、「実際にどのように地域の要援護者の方々に必要な対応をしていくべきか」等々の意見が出ました。治水能力を超える雨が年々増え続ける中、水害は過去のものではなく日常起こりうる災害であるということを実感した連絡会となりました。

孤立ゼロプロジェクト実態調査を終えて

日頃より絆のあんしん協力員として活動され、実態調査を担われた戸田さんに調査を終えての感想についてお話を伺いました。

戸田さん：「調査をしてみて、この何年間でこの地域でお年寄りがすごい勢いで増えたなということを実感しましたね。若いひとたちがどんどん、外に引っ越して行ってしまって、独り暮らしや夫婦だけの年寄りの世代がほんとに多くなりましたよ。ただこの地域は一戸建ての世帯72の小さな地域なので、「何々ちゃん」とか下の名前で呼び合えるくらい古くからお互いのことを知っています。だから、相談相手がいない人たちは1人か2人でした。でもこれからは増えるかな」

「女性はまだいいのですが心配なのは男性、年をとってくると家に閉じこもる人が多い。お餅つきなんかの地域の行事に誘ってもこない人が多いですね。」

今回の戸田さんのインタビューを通して、実態調査は「その地域の持っている強いところ、これからの心配が見えてくる」といった、道具立てにもなるのだなということが実感できました。戸田さん、ありがとうございました！

絆のあんしん連絡会から生まれた「災害時あんしんマップ」

今年度は絆のあんしん連絡会で「災害時あんしんマップ」を作成しました(1)。

「近い将来、大きな地震が来ると言われているのに、自分の避難場所さえわかっていない人も多い」、「住民一人一人の災害に対する意識が低すぎる」というようなご意見を頂いたのがきっかけでした。

そこで、絆のあんしん連絡会の際に、マップ作りとはどのようなものか、足立区社会福祉協議会のご協力のもとで勉強会を行いました。

「地図にはどのような情報を掲載したらよいか?」、「あまりたくさんの情報を掲載すると、かえって見にくくなってしまわないか?」等、様々な意見交換が行われました。そして、必要な情報をどのように表現すれば見やすくなるのか、白地図を使って実際に書き込んでみるなどの作業を行いました。



裏表紙には、名前や連絡先、持病などを書き込むことができます

地図面は、避難所がわかりやすく色分けされています。自分だけの避難ルートを書き込めます



忘れることのできない3.11東日本大震災。今後、同規模の震災が起こり得るとも言われています。今回の「災害時あんしんマップ」作りを通して、実際に災害があった時の避難場所を覚えるという目的だけでなく、地域の皆様が日頃の災害に対する意識を高めていただくきっかけにできればよいと思っています。守れたはずの命を失うという悲しみに出会わないためにも。

(1) 災害時あんしんマップ：H25.5~H26.5にかけて絆のあんしん連絡会にて作成

絆のあんしん協力員・協力機関

センターでは、37名の絆のあんしん協力員、23箇所の絆のあんしん協力機関が活動を行なっています。1人でも多くの方が、「絆づくり」に理解と関心を持って、協力し合いながら寄り添い支援に向けて活動できるよう、今後も充実した連絡会を企画していく所存です。

絆のあんしん協力員

センターに併設されているイーストピア東和の1Fでは、絆のあんしん協力員の秋草さんが中心となって「青い空の会」という地域住民の憩いの場を開催し、様々なイベントを繰り広げています。この日も1Fフロアでは高校3年生の歌声が響いていました（ 1 ）。



秋草さんがこの活動を始めてから10年以上が経過しています。喫茶室からはじめ、その評判を聞いて人数も増えて、多くのイベントが企画されるようになりました。皆さん、ここに来ることをとても楽しみにしています。誰かお休みしても必ず連絡して、様子を確認しあうのだそうです。その気配りも「見守り」に繋がっています。

絆のあんしん協力機関

足立綾瀬郵便局では、5年ほど前から「見守り」に力を入れています。青木局長をはじめ職員一同、日々多忙な業務の中で、連携を取りながら気になる高齢者の方に気付いたら声をかける、という目配り・気配りを続けています。

増え続けるオレオレ詐欺を、これ以上増やすわけにはいかない！と局長さん。



高齢者の見守りに力を入れる協力機関
足立綾瀬郵便局（ 2 ）

（ 1 ）青い空の会：毎週木曜日（不定期休みあり）イーストピア東和1階（東和4-7-23）にて開催

（ 2 ）足立綾瀬郵便局：綾瀬4-31-10、土曜日曜日定休

大きな団地の中で

身近で頼れる地域の見守り役

平成24年、東京都で孤独死した人は4,712人（1日あたり12人）であるというショッキングな事実を絆のあんしん連絡会で学びました。長く生きてきて、このような人生の最後を迎える事はあまりにも悲しいことです。郵便局にも何度も通帳の再発行を繰り返す一人暮らしの高齢のお客さまが毎日のように来られます。お客さまから発信されるさまざまな信号をキャッチし、ご家族やセンターに連絡することもあります。もっとも身近な金融機関として、これからも可能な限り孤立をなくす地域のサポート体制の一つの役割を果たしていきたいと思えます。



大谷田団地内郵便局（1） 高野局長

絆のあんしん協力員の植松さんにインタビュー



この笑顔で元気になれる！

80代の男性宅に2年前から訪問しています。家に閉じこもりがちなので、安否確認のために訪問は夕方にして、お顔を出してくれるまで声を掛けます。また夕刊の有無や電気がついているかも気を付けています。趣味の相撲や高校野球の話題で会話が盛り上がります。「テレビや新聞の話題で話せる人がいると楽しい」と話され、質問に嬉しそうに答えてくれます。ご自身の戦争体験談はとても興味深いお話なので皆さんに聞かせたいくらいです。

小瀬村さんと野本さんの寄り添い支援活動



小瀬村さん・野本さんの訪問の様子を配りながら、日々活動をして頂いています。

支援を行うお二人より「訪問をするお宅が女性の一人暮らしなので、男女二人で訪問をした方がされる方もする方も安心だと思います」という事や「訪問をする頻度は隔週よりも毎週の方が、ご本人の小さな変化にまで気づくことができますね」というお話を伺いました。細かい所にまで気

「気づきあい」を目標に

今年度は、見守りに必要な知識を深めるための講座を開き、地域における「気づきあい」を増やしていくことを目標に絆のあんしん連絡会を開催しました。



認知症サポーター講座[9/20]



熱中症の講座[7/19]

寄り添い支援活動

Tさんは「最近転居してきて、まだ近隣に知り合いもいないので、月1回顔を出してくれると安心」と、絆のあんしん協力員の訪問を希望されました。

絆のあんしん協力員のMさんと顔合わせ。Mさんは、「まずは近所同士で気にかけることが大切」と、日頃から熱心に見守り活動をされています。今後、月1回訪問する予定です。



訪問の様子

北加平町会 川田会長が朝日新聞社の取材を受けました！[8/4]



川田会長：「住民の皆さんには、相談ごとがあれば、何でも良いので相談してくださいと伝えていきます。町会で解決できることは対応し、困難なことは関係機関に相談していきます。」

北加平町会では、日頃から住民の見守り意識が高く、早期に地域の異変に気づき、救急搬送に至った事例もありました。

絆のあんしん連絡会

「孤立ゼロプロジェクト」、「ゴミ出しが困難な高齢者」、「一人暮らしの認知症高齢者」、「消費者被害」等をテーマに、講師による講義や意見交換を行いました（ 1 ）。



地域で防ごう！消費者被害[11/21]

絆のあんしん協力員や民生委員の方々が参加され、消費者センターの相談員の方を講師に招いての講義や、活発な意見交換が行われました。

講義では、最新の消費者被害の事例紹介や、ドラマ仕立ての参考DVDを視聴しながら対応を学びました。「催眠（SF）商法」や「利殖商法」など、出席者にとっても身近な話題のため、講義を受ける視線も真剣なものがありました。



意見交換では、自身が体験した振り込め詐欺の電話の内容や、「このようにして撃退した」といった報告がありました。また、このような会に来られない高齢者を、地域で見守っていく必要性を強く感じた会となりました

（ 1 ）絆のあんしん連絡会：2ヶ月に1回、保塚地域学習センター（保塚町7-16）にて開催

誰とでも気軽に話せる場所を 絆はなはた

センターの担当圏域は高齢化率が 30% を超えました。そのような現状の中で、花畑地域学習センターとの共催にて地域で誰とでも気軽に参加できる集いの場所を作りたいと考え、「絆はなはた」を創設しました。

毎週水曜日の 14 時～15 時に花畑地域学習センターの一室をお借りし、特にテーマを決めず、参加者が話したいことを話し、気分転換が出来ればと考えています。自らの趣味活動や旅行などの楽しい話から、認知症や防災などの情報交換など話題は多岐に渡ります。よほどの悪天候でない限りは必ず開いているということも参加者に安心感を与えているようです。毎回平均 5～6 名の参加があり、口コミの効果で累計の参加人数も少しずつ増えています。今年で 3 年目を迎え、地域にもだいが根付いてきたと感じています。

絆のあんしんネットワークの資源のひとつとして、センターの職員はこれからもこの集いの場が継続していくことが出来る様に支援をしていきます。



楽しげな会の様子です

絆のあんしん連絡会

毎回 20 名ほどの方々にご参加いただいておりますが、11 月は足立区危機管理課の職員、竹の塚警察署 生活安全課防犯係から 2 名の署員の方々に講師を依頼し、「特殊詐欺被害」[11/26]についての勉強会を行いました（ 1 ）。

警察官の方々から語られる生々しい話を聴き、改めてその巧みな手口に対して、驚きの声が聞かれました。予防策として「親子の会話が大事」との言葉に対して、皆が納得し、絆のあんしんネットワークの主旨でもある「地域の中での関わり」の重要性を再認識することとなりました。



（ 1 ）絆のあんしん連絡会：2 ヶ月に 1 回、花畑地域学習センター（花畑 4-16-8）にて開催

絆のあんしん連絡会

3 ヶ月に 1 回の頻度で開催しており、毎回 30 名以上の方が出席しています。内容は研修会と情報交換会を行なっております。下の写真は「特殊詐欺被害防止」[11/26] について講義を聞き、DVD を視聴したときのものです。



被害にあわない為に話合いました



災害について自由に話合いました

絆のあんしん協力員、協力機関

「とんぼクラブ」のリーダー 佐藤協力員
毎月行事案内と行事終了後、写真入りの通信を 13 人のメンバーさんと 75 世帯見守り支援を含め、1 件 1 件訪問し手渡で信頼関係を築いてられました。他にも数多くの取り組みをされています (1)。

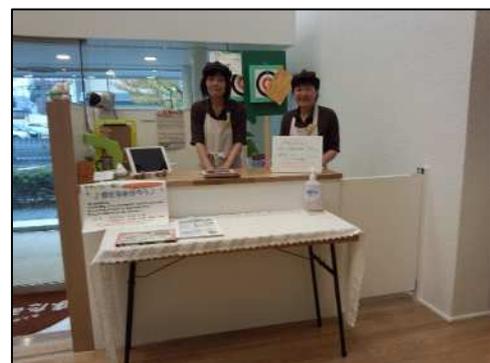


亀公園の掃除をする佐藤協力員

絆のあんしん協力機関

(株)東冠では地域の皆様の仲間作りコミュニケーションの場として活用して頂けるよう大人のコミュニティカフェ「またあした」をオープンさせました (2)。

絆のあんしん協力員・協力機関同士が連携の取り合える活動を今後とも、重ねてまいります。



「またあした」のスタッフさん

(1) とんぼクラブ：老人クラブ。活動内容は新聞の作成・配達、公園掃除等

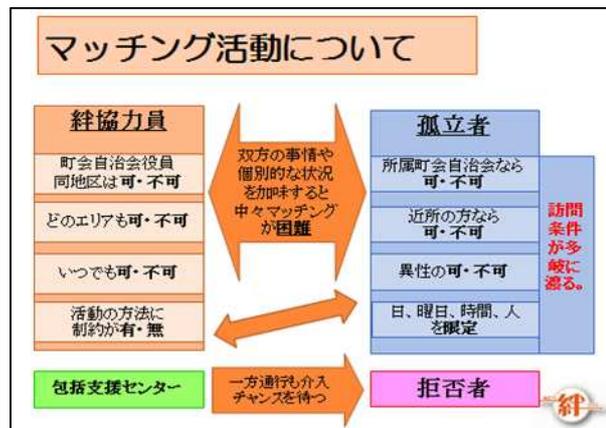
(2) またあした：保木間 3-3-2、水曜定休

孤立ゼロプロジェクト推進連絡会で事例紹介

第 4 回孤立ゼロプロジェクト推進連絡会にてセンターにおける活動事例を紹介致しました(1)。内容は、本事業における地域で孤立と判定された方々と絆のあんしん協力員のマッチング活動を中心とした報告と、今後の課題をテーマとさせて頂きました。地域で孤立と判断された方々の状況は複雑な理由が介在しており、マッチングが上手く進められる秘訣は、やはり人と人との信頼関係「心と心の絆」が大切であると改めて感じた報告会でした。



推進連絡会で使用した資料



マッチング活動について

竹の塚第二団地自治会におけるマッチング活動と定期訪問活動

センター圏域での、寄り添い活動が成功している竹の塚第二団地自治会の活動状況です。この自治会では孤立ゼロプロジェクト高齢者実態調査を行い、調査対象者 148 名のうち要支援者 33 名・孤立判定者 3 名・事業拒否者 3 名という結果が出ました。自治会では、調査員さんに絆のあんしん協力員に登録していただき、一度顔を合わせ、調査時に様子を把握している方をマッチングする形で活動を推進しています。また事業を拒否されて心配な方には、山本自治会長を始めとし、元々自治会で行っている挨拶活動や見守り活動を継続して行って頂いております。

寄り添い活動
マッチングの成功したケース

- 竹の塚第二団地自治会の例をもとに・・・
 - 1：もともとの自治会活動で居住者を把握
 - 2：おはよう訪問や救命救急キッド活用
 - 3：婦人会のサロン活動
 - 4：包括介護者教室の定期開催
- 自治会活動の特性を生かし・・・
 - 「絆のマッチング会」を企画開催した。
 - 顔が繋がっている協力員をマッチング。

マッチング成功の秘訣



竹の塚第二団地 山本自治会長

(1) 第 4 回孤立ゼロプロジェクト推進連絡会：H26.7.1、足立区役所にて開催

絆のあんしん連絡会

6月には社会福祉協議会の方をお招きし、高齢者サロンをテーマに行いました。12月には「生活に困っている方を支える為に地域で出来ること」[12/2]という課題について、足立区生活困窮者支援担当課の方をお招きして事例を検討しました（ 1 ）。



職員の寸劇を交えた事例発表の後、グループに分かれて意見交換を行いました。地域で気になっている方への声かけに関する事など活発なご意見もあり、有意義な時間となりました。

絆のあんしん協力員

地域での目配り、気配り、お声掛けといった日常的な見守り活動の他に、週1回程度、寄り添い支援活動に協力を頂いています。また、センターが定期的で開催している絆のあんしん連絡会にも積極的にご出席頂き、貴重なご意見を頂戴しています。

今後もこうした活動に、より多くの方々からご協力・ご参加頂くことが出来、地域のネットワークをさらに強固なものとしていけるよう、地域に根差した活動を地道に行っていきたいと思えます。



絆のあんしん協力員の
小出さん（左）関根さん（右）

（ 1 ）絆のあんしん連絡会：2ヶ月に1回、大石記念病院（西新井本町2-23-1）にて開催

絆のあんしん連絡会

絆のあんしん協力員・協力機関・民生委員・町会・自治会・老人クラブの方々より毎回20名程のご参加があります。情報交換会では地域の状況や活動報告を行います。活動に対しての悩みや疑問などを互いにアドバイスし合う場面もみられています(1)。

他に今年度は区・生活環境保全課より「高齢者のゴミ問題」や社会福祉協議会による「ふれあいサロンから学ぶ孤立防止の取り組み」の講義を行いました。11月の連絡会では「地域の安全～高齢者被害の現状～」について、区・危機管理課と西新井警察署・ふれあいポリスよりお話をいただきました。高齢者被害では主に詐欺被害を中心に、また孤独死に関連した話もされました。「詐欺についても孤独死についても共通していえることは、やはり家族や地域のコミュニケーション=会話が大切である」という言葉には参加者も頷かれ、見守り活動における姿勢にもつながることであったと感じています。



ふれあいポリスのお話[11/28]

絆のあんしん協力員

西新井中央町会で活動している仙波さんにお話を伺いました。

仙波さんは、孤立ゼロプロジェクトの実態調査員から協力員になりました。現在1名の訪問をお願いしています。最初はお互い緊張し構えていたとのことでしたが、ご本人が飼っている猫の話きっかけに、少しずつ会話も広がっていったといいます。お互いにスポーツなどの時事話もされるそうです。

仙波さんが活動を行うにあたりいつも思っていることは「無理と思っても一応引き受けてみる。その後どういう結果があろうとも世界が広がる。やってみようという気持ちを忘れないようにしたい」だと話されていました(アンパンマン作者のやなせたかさんの言葉だそうです)。これからもよろしく願いいたします。

(1) 絆のあんしん連絡会：2ヶ月に1回、センターにて開催

絆のあんしん連絡会

センターでは、隔月のあんしん連絡会で、協力員の方など「絆のあんしんネットワーク」関係者の皆様を対象とした講座を開催しています。7月17日には「気を付けたい食中毒」というテーマで、足立保健所生活衛生課食品監視係の鈴木様を講師として招き、食中毒の基礎知識や予防のポイント等ご講義いただきました(1)。



絆のあんしん連絡会の様子

夏祭りにお邪魔しました

活動中にご協力いただいている「江北六丁目団地自治会」の方にお声かけいただき、地域の夏祭り[8/3]に応援として参加させていただきました。司会と射的のコーナーをセンターの職員にて担当させていただきました。



司会担当の黒田(左)橋本(右)



射的コーナーも大盛況!

絆のあんしん協力員 藤原さんのお話

団地内でもデイサービスの送迎車を目にする事が多くなり、高齢化を実感します。そんな中、元気な高齢者が地域のボランティアへ参加する姿が増えています。毎朝スクールゾーンに立ち、交通事故や不審者への注意を払うのもその一つです。このような方が増えているのもボランティア参加の声掛けが広がった成果だと思っています。今後、絆のあんしん協力員の活動も地域に広めていきたいと考えています。



協力員の藤原さん

(1) 絆のあんしん連絡会：2ヶ月に1回、センターにて開催

絆のあんしん連絡会

孤立ゼロプロジェクトについて[5/20]

講師に絆づくり担当課の田澤係長をお招きしました。支援活動の具体的な話が聞けて良かった、手引きの説明がわかりやすかった等ご意見頂きました。



孤独死を防ぐための見守りとは[7/23]

講師に(有)アールキューブ・あんしんネット事業部部長整理コーディネーター石見さんをお招きしました。地域での見守りが大切なことが分かった。とても参考になった等ご意見を頂きました。

絆あんしん協力員の方のご紹介



北区でも活動されています

絆のあんしん協力員の秋山さん

語らいパートナーとして現在1名の方のお家に月に2回訪問し活動をされています。近日中にもう1名増える予定になっています。

月に1~2回ほどの訪問活動になりますが、まだまだ多くの方とお話できたら、とのことです。

絆のあんしん協力員の正木さん

毎週開催されるサロン「カフェさくら」にてボランティア若葉のメンバー、月に1度の鹿浜学習センターにて開催される「俳句・川柳ふれあいサロン」のメンバーとして活躍されています(1)。また、今年の4月にはお住まいの近くの特別養護老人ホーム紫磨園にて「しまいいとこサロン」を立ち上げられ月に2回開催されています(2)。



バイクで区内を飛び回っています

(1) カフェさくら：毎週水曜日、特別養護老人ホームさくら(皿沼2-8-8)にて開催
 (2) しまいいとこサロン：毎月2回、特別養護老人ホーム紫磨園(入谷3-3-6)にて開催

絆のあんしん協力員 谷口さん

平成 12 年より絆のあんしん協力員として見守り活動を行うとともに、やすらぎ支援員としても活動をされている谷口さんをご紹介します。

谷口さんは在宅介護支援センター入谷が伊興地域を担当していた時にご登録され、私共の地域で連絡会の参加や見守り活動をされていました。

その中で、舎人にお住いでしたMさん夫妻と関わりを持ち、10年にも及ぶ寄り添いを続けていただきました。

Mさんの妻は、寝たり起きたりの生活のため、週に1回Mさんが通院で家はずす際は、谷口さんがやすらぎ支援員としてMさんの妻を支援していました。

また、Mさんの妻が特養入所後も引き続きMさんに対しては、お話し相手として訪問を続けられ、Mさんが平成 27 年 2 月に永眠されるまで、何かと気にかけていただきました。

谷口さんの入谷地域での見守り活動はMさんで終了となりました。他にも 15 年間様々な活動を支えていただき、センター職員一同、感謝申し上げます。大変ありがとうございました。

絆のあんしん連絡会

今年はセンターで5回開催し、9月には「個人情報保護についての講座」[9/30]を行いました。

孤立ゼロプロジェクトが開始され、寄り添い支援活動が始まったこともあり、基本的な知識を学ぶ講座を企画しました。



長年に渡り活動している谷口さん



区役所情報公開担当より講義

絆のあんしん連絡会

偶数月の第三もしくは第四土曜日の午前中に絆のあんしん連絡会を開催しており、毎回、絆のあんしん協力員、民生委員、老人クラブ会長の方々に参加していただいています。今年度は、地域の見守りを行う際に役立つと思われる知識や技術の習得を目的として「高齢者の消費生活トラブルについて」、「緊急時の対応について」、「孤立ゼロプロジェクトについて」、「高齢者虐待について」、「遺言・相続について」といったテーマで開催しました。



孤立ゼロプロジェクトについて[8/23]



遺言・相続について[12/27]

絆のあんしん協力員

サービス付き高齢者住宅に入居されている土屋さんは建物内で「笑笑サロン」を立ち上げ活動しています(1)。

入居者同士が日頃から顔なじみの関係になることで、災害時など協力し合えるのではないかと思い、サロンの立ち上げに至ったと話してくれました。

今後、自室への閉じこもり防止のため、食堂にミニ図書館を設置できたらと考えているようです。



インタビューを受ける土屋さん

(1) 笑笑サロン：リリィ竹ノ塚(東伊興3-3-10)にて不定期開催

孤立ゼロプロジェクト実施済み町会・自治会と情報交換会！！

センターの担当区域において孤立ゼロプロジェクトに参加している町会・自治会の会長、民生委員、絆づくり担当課職員、センター職員が出席して情報交換会を開催しました（ 1 ）。

今回の情報交換会では、町会による調査で見守りが必要と判断されたが本人の拒否があり、地域による見守りが困難な状況にあったことや、町会長からの依頼を受けて、センターの職員が定期的に自宅を訪問していたにもかかわらず、孤立死を防げなかった事例を議題としました



単身高齢者を心配する町会・自治会長

出席者から、こうした事例は他の地域でも発生が予想される地域全体の問題として捉え、地域全体が見守りのポイントや、緊急時の通報体制について確認することが大切という意見がありました。また、かわりを拒否する住民に強制はできないが、近隣住民と協力して、ねばり強く声をかけていくことや、異変に気づいたらすぐに警察やセンターに連絡することが重要といった意見もありました。

さらに、地域の高齢者が集まれるサロンなどが、身近な場所に必要という意見も出されました。そして、緊急時の連携方法については、「3日間姿が見えない、訪問しても会えない」時には、当センター、町会・自治会、民生・児童委員が連携して対応していくことを確認しました。



熱い議論を交わす町会長と民生委員

（ 1 ）情報交換会：H26.11.20、センターにて開催

資料編

孤立ゼロプロジェクト ～絆のあんしんネットワーク～とは？

このプロジェクトは、地域の方々や協力する機関がネットワークを組み、いくつになっても地域の人との交流があり、笑顔があふれる“お互いさまのまち”をみんなのちからで築いていく活動です。プロジェクトでできるネットワークを「絆のあんしんネットワーク」と呼び、お互いに少しずつ“ちから”を出し合って無理のない範囲で助け合って生きていくという、緩やかなつながりを築きます。

その中で、高齢者に何か異変があった場合には、“地域のちから”で気づき、すぐに連絡できる体制を整えます。

居場所づくり 社会参加へ

『絆のあんしん協力員』などが、地域のイベントや教室、サロン活動をご紹介します。

自ら進んで地域活動や地域社会に参加し、年齢にかかわらず、生きがいを持って日々を送っていただくことを目指しています。



気づく

孤立ゼロプロジェクト実態調査による“気づき”
町会・自治会活動による“気づき”
絆のあんしん協力機関の事業活動時の“気づき”
絆のあんしん協力員の見守り、声かけ活動による“気づき”
ご近所づきあいによる“気づき”

つなげる

連絡を受けた地域包括支援センターが専門機関などの必要なサービスにつなげます。
「話し相手がほしい」「ちょっとした相談相手がほしい」方には、地域包括支援センターが『絆のあんしん協力員』をご紹介します。

町会・自治会
民生委員

絆のあんしん
協力機関

絆のあんしん
協力員

地域包括
支援センター



寄り添う

(声かけ・見守り)

町会・自治会活動や日常のご近所づきあいの中で、声かけや見守りを行います。

また、『絆のあんしん協力員』も話し相手になるほか、見守りや声かけなどを行います。

孤立ゼロプロジェクト実態調査とは

介護保険サービスを利用していない70歳以上の単身の世帯と75歳以上の方のみの世帯へ「世間話をする頻度」「困りごとの相談相手」などについて、町会・自治会、民生委員のみなさんが、区の情報をもとに聞き取り調査を行います。調査の結果、孤立のおそれがあると判断された場合には、関係機関や必要な行政サービスにつなぎます。

孤立ゼロプロジェクト進捗状況

1 孤立ゼロプロジェクト推進活動開始町会・自治会について

【 250 団体（平成 27 年 3 月末日現在）】

町会・自治会数	前回報告	今回実施	活動開始	実施率
436	228	22	250	57.34%
1 回目調査準備中	1 回目調査中	調査済 (確認調査中)	支援開始	計
34	31	26	159	250

2 高齢者実態調査実施状況について【平成 27 年 3 月末日現在】

(1) 調査終了町会・自治会数：185 団体（2 回目調査終了 19 団体含む）

(2) 調査集計結果

区分	調査世帯数	入院・不在等	孤立のおそれ	不同意
70 歳以上 単身世帯	12,917 世帯	1,160 世帯	1,491 世帯 12.68%	495 世帯 4.21%
75 歳以上 のみ世帯	3,371 世帯 (6,742 人)	65 世帯 (130 人)	364 世帯・728 人 11.01%	127 世帯・254 人 3.84%
合計	16,288 世帯 (19,659 人)	1,225 世帯 (1,290 人)	1,855 世帯・2,219 人 12.31%	622 世帯・749 人 4.13%

3 孤立の恐れがあると判断された世帯のその後の対応

対象世帯：1,855 世帯【平成 27 年 3 月末日現在】

地域包括支援センターにより状況確認中	孤立状態でないと判断	絆のあんしん協力員の訪問	地域包括支援センターによる支援	介護保険サービス等開始
611 世帯 (32.9%)	747 世帯 (40.3%)	83 世帯 (4.5%)	228 世帯 (12.3%)	186 世帯 (10.0%)

4 不同意の世帯への対応

不同意の世帯に対しては、管轄の地域包括支援センターよりセンターの連絡先や関係機関を掲載した「お知らせ」を定期的に投函し、見守っていく。

平成27年3月31日現在

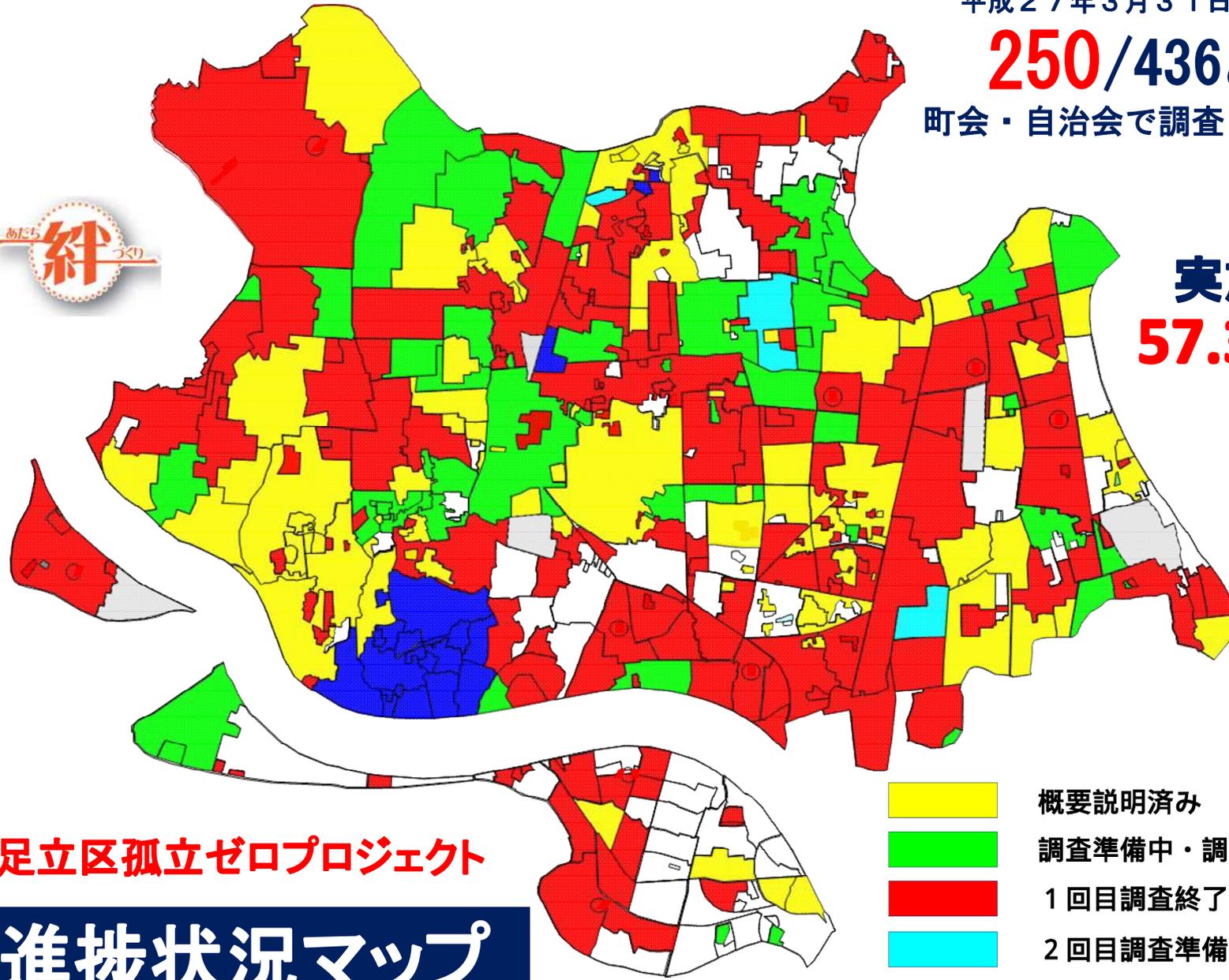
250/436の
町会・自治会で調査を実施

実施率
57.34%



足立区孤立ゼロプロジェクト

進捗状況マップ



-  概要説明済み
-  調査準備中・調査中
-  1回目調査終了
-  2回目調査準備中・調査中
-  2回目調査終了

絆のあんしん協力員・協力期間 登録数

地域包括支援 センター名	絆のあんしん 協力員数	絆のあんしん 協機関数
日の出	15	14
千寿の郷	15	19
千住西	54	33
千住本町	14	28
新田	14	9
扇	59	15
本木関原	18	20
関原	80	39
あだち	18	16
中央本町	49	23
西綾瀬	18	9
東和	37	23
中川	48	24
さの	48	24
一ツ家	26	19
はなはた	25	13
保木間	68	37
六月	57	15
西新井本町	14	17
西新井	36	24
江北	20	12
鹿浜	77	17
入谷	22	13
伊興	38	17
基幹	48	23
その他	0	8
合計	918	511

平成27年3月1日現在

地域包括支援センター 担当圏域別人口

センター名	主な町丁	総人口	高齢者	高齢化	前期高	前期高	後期高	後期高	単身高	単身高
		(人)	数(人)	率(%)	齢者数	齢化率	齢者数	齢化率	齢者数	齢者率
		A	B	B/A	C	C/A	D	D/A	E	E/A
日の出	日ノ出町、旭町、東2	11,501	3,295	28.65	1,665	14.48	1,630	14.17	1,103	9.59
千寿の郷	柳原、関屋町、曙町、東1	15,131	3,459	22.86	1,891	12.50	1,568	10.36	1,108	7.32
千住西	千住桜木、緑町、龍田町、中居町、宮元町、仲町、河原町、橋戸町	25,264	6,013	23.80	3,225	12.77	2,788	11.04	1,991	7.88
千住本町	千住1～5、千住元町、柳町、大川町、寿町	21,821	5,903	27.05	2,949	13.51	2,954	13.54	2,077	9.52
新田	新田、宮城、小台	27,298	5,600	20.51	2,925	10.72	2,675	9.80	1,687	6.18
扇	扇、興野、本木東・西・南・北町	26,855	6,989	26.02	3,552	13.23	3,437	12.80	2,028	7.55
本木関原	関原、本木1・2	15,711	4,480	28.52	2,242	14.27	2,238	14.24	1,390	8.85
関原	梅田2～8	22,960	5,260	22.91	2,725	11.87	2,535	11.04	1,606	6.99
あだち	足立、梅田1、中央本町2	18,386	4,462	24.27	2,327	12.66	2,135	11.61	1,483	8.07
中央本町	中央本町3～5、青井1・3～6、西加平	24,338	6,026	24.76	3,233	13.28	2,793	11.48	1,613	6.63
西綾瀬	西綾瀬、弘道、青井2	18,746	4,518	24.10	2,229	11.89	2,289	12.21	1,441	7.69
東和	綾瀬、東綾瀬、谷中、東和1・3、谷中	52,465	9,051	17.25	5,118	9.76	3,933	7.50	2,784	5.31
中川	東和2・4・5、中川、大谷田1	28,744	7,086	24.65	3,847	13.38	3,239	11.27	2,266	7.88
さの	佐野、大谷田2～5、六木、加平、北加平、神明、神明南、辰沼	47,272	10,913	23.09	6,632	14.03	4,281	9.06	2,885	6.10
一ツ家	一ツ家、平野、六町、保塚町、南花畑1～4	33,333	8,190	24.57	4,647	13.94	3,543	10.63	2,194	6.58
はなはた	花畑、南花畑5	21,601	6,608	30.59	3,588	16.61	3,020	13.98	2,085	9.65
保木間	保木間、東保木間、西保木間、	32,412	8,404	25.93	4,688	14.46	3,716	11.46	2,772	8.55
六月	六月、東六月町、竹の塚	28,500	8,017	28.13	3,976	13.95	4,041	14.18	2,650	9.30
西新井本町	西新井本町・西新井栄町	24,158	5,769	23.88	2,970	12.29	2,799	11.59	1,964	8.13
西新井	西新井、栗原	32,372	7,812	24.13	4,056	12.53	3,756	11.60	2,442	7.54
江北	江北、堀ノ内	20,998	6,762	32.20	3,378	16.09	3,384	16.12	2,160	10.29
鹿浜	鹿浜、加賀、皿沼、椿、谷在家	33,702	8,121	24.10	4,483	13.30	3,638	10.79	2,221	6.59
入谷	入谷、舎人、古千谷、古千谷本町	31,205	7,282	23.34	4,300	13.78	2,982	9.56	1,907	6.11
伊興	伊興、伊興本町、東伊興、西伊興、西竹の塚	33,398	7,841	23.48	4,271	12.79	3,570	10.69	2,234	6.69
基幹	梅島、島根、中央本町1	25,997	5,549	21.34	2,910	11.19	2,639	10.15	1,766	6.79
足立区全体		674,168	163,410	24.24	87,827	13.03	75,583	11.21	49,857	7.40

地域包括支援センター 一覧

名称	電話番号	ファックス	所在地	主な担当地域
日の出	(3870)1184	(3870)1244	日ノ出町27-4-112	日ノ出町、旭町、東2
千寿の郷	(3881)1691	(3870)6717	柳原2-33-6	柳原、関屋町、曙町、東1
千住西	(5244)0248	(5244)0249	千住中居町10-10	千住桜木、緑町、龍田町、中居町、宮元町、仲町、河原町、橋戸町
千住本町	(3888)1510	(5813)8336	千住2-39	千住、元町、大川町、寿町、柳町
新田	(3927)7288	(3927)7289	新田3-4-10	新田、宮城、小台
扇	(3856)7007	(3856)1134	扇1-52-23	扇、興野、本木東・西・南・北町
本木関原	(5845)3330	(5845)3338	本木1-4-10	関原、本木1~2
関原	(3889)1487	(3887)1407	関原2-10-10	梅田2~8
あだち	(3880)8155	(3880)4466	中央本町2-4-24	足立、中央本町2、梅田1
中央本町	(3852)0006	(3886)0086	中央本町4-14-20	中央本町3~5、青井1・3~6、西加平
西綾瀬	(5681)7650	(5681)7657	西綾瀬3-2-1	西綾瀬、弘道、青井2
東和	(5613)1200	(5613)1201	東和4-7-23	綾瀬、東綾瀬、谷中、東和1・3
中川	(3605)4985	(3605)9092	中川4-2-14	東和2・4・5、中川大谷田1
さの	(5682)0157	(5682)0158	佐野2-30-12	加平、北加平町、神明、神明南、辰沼、六木、佐野、大谷田2~5
一ツ家	(3850)0300	(3850)0370	一ツ家4-5-11	平野、一ツ家、保塚町、六町、南花畑1~4
はなはた	(3883)0048	(3883)0351	花畑4-39-11	花畑、南花畑5
保木間	(3859)3965	(5831)2246	保木間5-23-20	西保木間、保木間、東保木間
六月	(5242)0302	(5242)0327	六月1-6-1	六月、東六月町、竹の塚
西新井本町	(3856)6511	(3856)5006	西新井本町2-23-1	西新井本町、西新井栄町
西新井	(3898)8391	(3898)8392	西新井2-5-5	西新井、栗原
江北	(5839)3640	(5839)3643	江北3-14-1	江北、堀之内
鹿浜	(5838)0825	(5838)0826	皿沼2-8-9	鹿浜、加賀、皿沼、谷在家、椿
入谷	(3855)6362	(3855)6360	入谷9-15-18	入谷、舎人、古千谷、古千谷本町
伊興	(5837)1280	(5837)1282	伊興3-7-4	伊興、東伊興、伊興本町、西伊興、西竹の塚
基幹	(5681)3373	(5681)3374	梅島3-28-8	梅島、中央本町1、島根

足立区高齢サービス課 足立区中央本町1-17-1 ファックス (3880)5614
 地域包括支援センターについては 介護予防係 電話 (3880)5885
 高齢サービスの内容については 在宅支援係 電話 (3880)5257
 足立区絆づくり担当課 電話(3880)5184 ファックス (3880)5603



お問い合わせ先

足立区役所 地域のちから推進部 絆づくり担当課

足立区中央本町1 - 17 - 1 足立区役所 別館1階

電話3880 - 5184